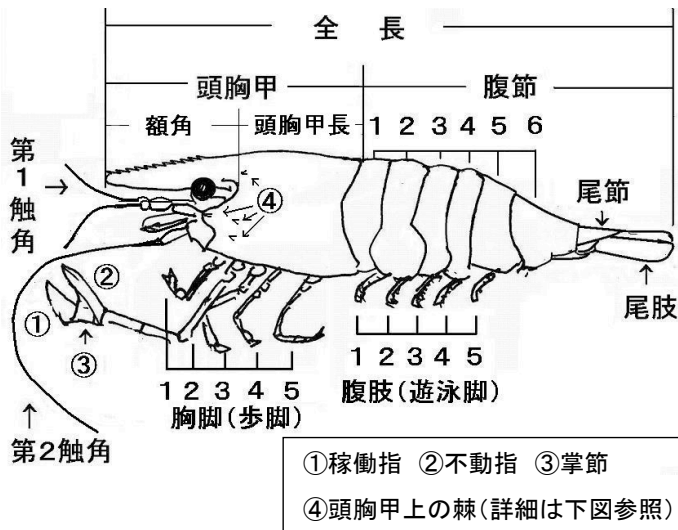


ルーペを使って観察する

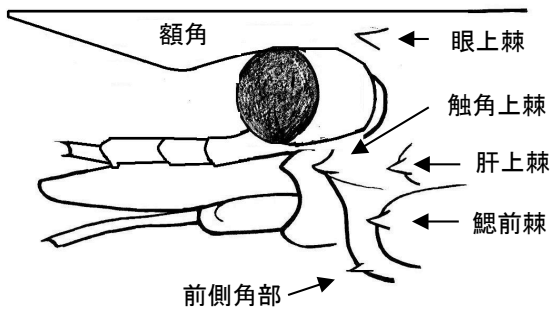


ルーペを使って観察する場合はエビの体を構成している各部位の特徴をみることになります。そのためには各部の名前を知っていなければなりません。専門的な同定は顕微鏡を用いてもっと細かい部分を見たり、卵の形や大きさ、数も知る必要がありますが、素人が現場で観察して判定するツールとしてはルーペまででしょう。

左図がエビの主要な部分の名前です。図はテナガエビのイメージですので第2胸脚が大きく書いてありますが、ヌマエビ科のエビは大きくはありません。ちなみに、ザリガニ類の巨大な缺腕は第1胸脚が変化したものです。

淡水エビの分類で大きな意味を持っているところは額角(額から前方に突きだしている角)の長さや形と上下の棘状の歯の生えている位置や数、頭胸甲にある棘の有無です。

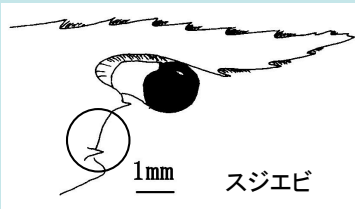
淡水エビ種類の判定に用いられる頭胸甲部の名称



(1) テナガエビ科のエビ類

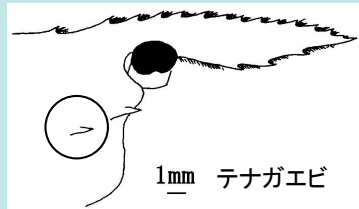
テナガエビ科のスジエビとテナガエビは額角の形が違います。共に荒い歯のノコギリの様ですが、テナガエビの額角は丸く刃は細かい、スジエビは直線的な荒い片刃のノコギリの様です。

この他には肝上棘と鰓前棘といわれる棘で見分けられます。スジエビには鰓前棘あって肝上棘はありません。テナガエビには肝上棘があって鰓前棘はありません。触角上棘は共通しています。触角上棘に対して肝上棘は殆ど真後側、鰓前棘は斜め後側に位置しています。但し、ルーペで見分けるのは多分無理です。



額角上縁はほぼまっすぐ伸び5~7歯がある(内頭胸甲上に1本)。触角上棘及び鰓前棘がある。肝上棘はない。

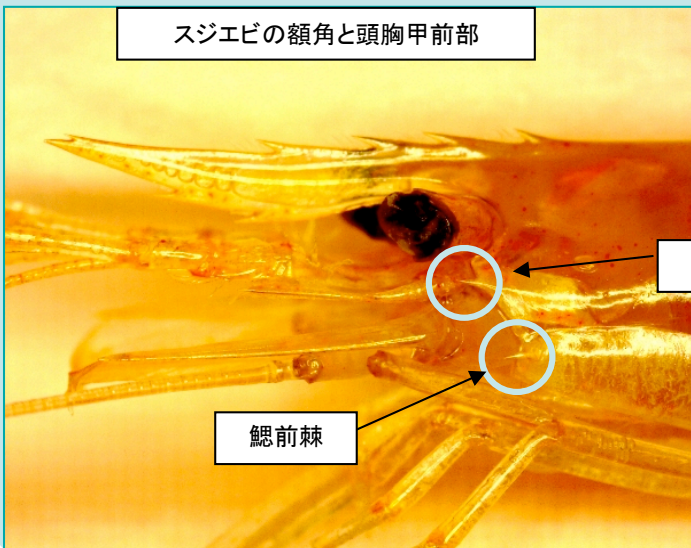
テナガエビ科 スジエビ属



額角上下縁ともに湾曲する。上縁歯は10~14本ある(内頭胸甲上に2~3本)。触角上棘及び肝上棘がある。鰓前棘はない。

テナガエビ科 テナガエビ属

スジエビの額角と頭胸甲前部



テナガエビの額角と頭胸甲前部

